


さぎん 会社説明会

このまちで、あなたと・・・
～金融の枠を超えて地域の価値向上を実現する銀行グループ～

2022年 11月

※本編は2022年6月に開示いたしました会社説明会資料の一部について計数に関する部分を2022年9月期の計数に置き換えたものです。

このまちで、あなたと
 佐賀銀行

目次

1.	2022年度中間期損益の状況	… 2～4
2.	対顧客利益推移	… 5
3.	預貸金の状況	… 6
4.	有価証券の状況	… 7～8
5.	不良債権比率の推移	… 9
6.	自己資本比率の推移	… 10

1. 2022年度中間期損益の状況

(単位：百万円)

項目	No	2021年度 中間期	2022年度 中間期	前期比	備考
業務粗利益	1	14,811	15,198	387	貸出金平残 +7.72% (+1,563億円)
資金利益	2	12,526	13,125	599	貸出金平残【除く政府系】 +6.76% (+1,165億円)
資金運用収益	3	12,676	13,861	1,185	貸出金利回り【除く金融機関向け】 0.927% ⇒ 0.878% (△0.049%)
貸出金利息	4	9,343	9,532	189	貸出金利回り【除く政府系】 1.082% ⇒ 1.034% (△0.048%)
有価証券利息配当金	5	3,144	4,059	915	
その他	6	189	269	80	預金等平残 +2.49% (+693億円)
資金調達費用	7	149	735	586	預金等利回り 0.008% ⇒ 0.017% (+0.009%)
預金等利息	8	117	250	133	
その他	9	32	484	452	総資金利鞘 0.20% (前年比 +0.02%)
役務取引等利益	10	2,070	2,245	175	
役務取引等収益	11	3,870	3,991	121	法人ビジネス関係+138
" 費用	12	1,799	1,745	△54	
その他業務利益	13	214	△172	△386	
経費	14	10,049	9,697	△352	物件費△255、人件費△139、税金+43
実質業務純益	15	4,762	5,501	739	
信用コスト	16	2,367	37	△2,330	前期大口発生 of 反動減
一般貸倒引当金繰入額	17	606	-	△606	
個別 " "	18	1,720	-	△1,720	
債権売却損等	19	40	69	29	
貸倒引当金戻入益 (△)	20	-	31	31	
その他の臨時損益	21	1,095	908	△187	
経常利益	22	3,490	6,372	2,882	
特別損益	23	△131	356	487	+要因：退職給付制度改定益+440、減損損失△67、△要因：固定資産処分損+55
税引前中間純利益	24	3,358	6,729	3,371	
法人税等・法人税等調整額	25	1,072	1,702	630	
中間純利益	26	2,286	5,026	2,740	
対顧客利益 (4-8+10-14)	27	1,247	1,829	582	

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

1. 2022年度中間期損益の状況(つづき)

業務純益についての補足説明

(単位：百万円)

項目	No.	2021年度中間期	2022年度中間期	前年比	備考
業務純益 (2+12)	1	4,156	5,501	1,345	
実質業務純益 (3+11)	2	4,762	5,501	739	
コア業務純益	3	4,828	5,825	997	
資金利益	4	12,526	13,125	599	貸出金利息+189、有価証券利息+915
役務取引等利益	5	2,070	2,245	175	法人ビジネス、預かり金融資産等
その他業務利益【除く国債等関係損益】	6	279	152	△ 127	
外国為替売買損益	7	△ 13	△ 213	△ 200	外貨調達コスト上昇
その他	8	292	365	73	
経費 (△)	9	10,049	9,697	△ 352	
コア業務純益 (投信解約損益除く)	10	4,789	5,456	667	投信解約損益 2021年度：38、2022年度：369
国債等関係損益 (5勘定戻)	11	△ 65	△ 324	△ 259	
一般貸倒引当金繰入額 (△)	12	606	0	△ 606	前期大口要因の変動減
臨時損益	13	△ 665	870	1,535	
うち 株式等関係損益 (3勘定戻)	14	777	743	△ 34	
うち 与信費用【除く一般貸倒引当金】	15	1,760	38	△ 1,722	前期大口要因の変動減
経常利益 (1+13)	16	3,490	6,372	2,882	

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

1. 2022年度中間期損益の状況(つづき)

		2021年度 中間期	2022年度 中間期	前年比	増減要因
		(単位：百万円)			
経常収益		18,616	19,832	+1,216	+要因：貸出金利息 +189、役務収益 +121、有価証券利息配当金+949 △要因：預金等利息 △133、株式等売却損益 △128、債券売却益等 △416
経常利益		3,490	6,372	+2,882	+要因：経費 △352、役務利益 +175、信用コスト +2,330 △要因：市場部門 △193
うち	預貸金利息収支差	9,226	9,282	+56	
	貸出金利息	9,343	9,532	+189	増減要因分析：残高要因 +703、利回り要因 △514
△	預金等利息	117	250	+133	増減要因分析：残高要因 +5、利回り要因 +128
	役務取引等利益	2,070	2,245	+175	
	役務取引等収益	3,870	3,991	+121	預かり金融資産 +147、法人ビジネス関連 +138、内国為替関連 △130
△	役務取引等費用	1,799	1,745	△ 54	
	市場部門	3,389	3,196	△ 193	
	有価証券利息配当金	2,628	3,577	+949	外貨建外債 +726、外債投資信託 +355、REIT等 +96
	債券等売却損益	839	423	△ 416	
	特定金銭信託	7	3	△ 4	
△	外貨調達コスト	85	806	+721	
△	経費	10,049	9,697	△ 352	物件費 △255、人件費 △139、税金 +42
△	クレジットコスト	2,367	37	△ 2,330	前期の大口要因反動減
	株式売却損益・減損	128	0	△ 128	
特別損益		△ 131	356	+487	年金制度移行に伴う改定益等 +440
税引前当期純利益		3,358	6,729	+3,371	
法人税等・法人税等調整額		1,072	1,702	+630	
当期純利益		2,286	5,026	+2,740	

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

※要因は主なもののみ記載しております。

2. 対顧客利益の推移

(単位：百万円)

項目	No.	2019年度		2020年度		2021年度		【参考】 2022年度9月期 (実績)	
			前年比		前年比		前年比		前年比
対顧客利益 (2+5-6)	1	△ 239	+2,780	1,398	+1,637	2,612	+1,214	1,829	+582
預貸金利息	2	18,058	+342	18,388	+330	18,422	+34	9,282	+56
貸出金利息	3	18,379	+36	18,700	+321	18,712	+12	9,532	+189
預金等利息	4	321	△ 305	312	△ 9	290	△ 22	250	+133
役務利益	5	2,956	+460	3,585	+629	4,154	+569	2,245	+175
経費	6	21,253	△ 1,978	20,575	△ 678	19,964	△ 611	9,697	△ 352

※対顧客利益：預貸金利息＋役務利益－経費

3. 預貸金の状況（2022年度中間期実績）

1. 貸出金の状況

（単位：百万円）

		2021年度中間期	2022年度中間期	前年比
貸出金全体	平残	2,023,856	2,180,250	+156,394
	利回り	0.920%	0.872%	△ 0.048%
	利息	9,343	9,532	+189
うち事業性	平残	1,086,369	1,113,202	+26,833
	利回り	0.918%	0.898%	△ 0.020%
	利息	5,002	5,012	+10
うち住宅ローン	平残	359,019	383,807	+24,788
	利回り	1.095%	1.045%	△ 0.050%
	利息	1,971	2,012	+41
うち消費者ローン	平残	40,649	38,336	△ 2,313
	利回り	7.512%	7.716%	+0.204%
	利息	1,531	1,483	△ 48
貸出金全体 （除く政府系）	平残	1,722,730	1,839,280	+116,550
	利回り	1.081%	1.033%	△ 0.048%
	利息	9,343	9,532	+189

2. 預金等の状況

（単位：百万円）

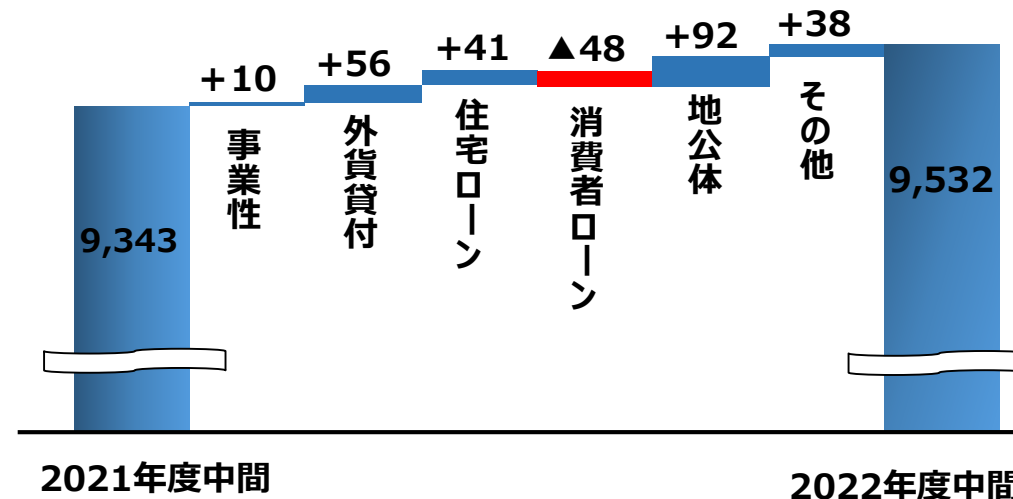
		2021年度中間期	2022年度中間期	前年比
預金等全体	平残	2,779,852	2,849,173	+69,321
	利回り	0.008%	0.017%	+0.009%
	利息	117	250	+133
うち個人預金	平残	1,602,622	1,688,519	+85,897
うち法人預金	平残	698,810	774,635	+75,825

※ 百万円未満は切り捨てて表示しております。

※ 貸出金の状況における事業性貸出金、住宅ローン、消費者ローンの平残等については、管理会計の正常貸出金ベースで作成しております。

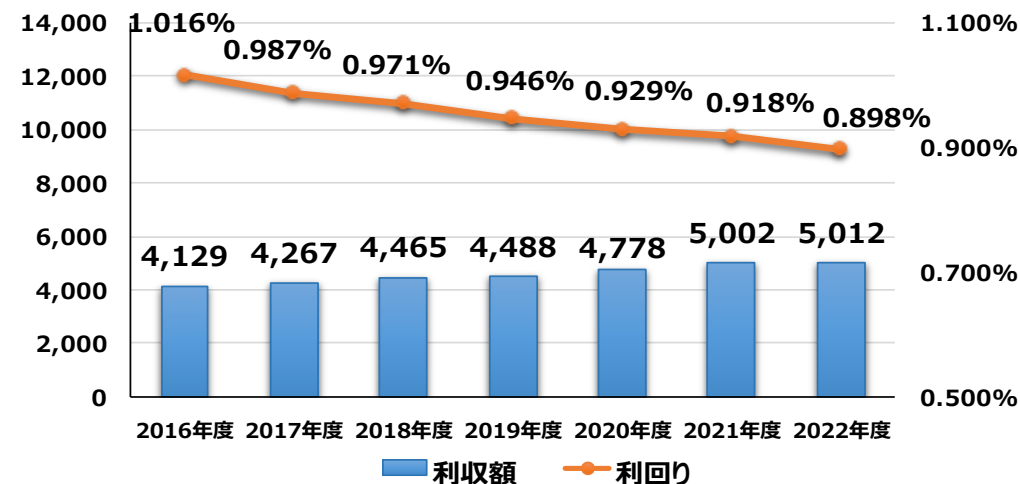
「貸出金利息前年度比」

（単位：百万円）



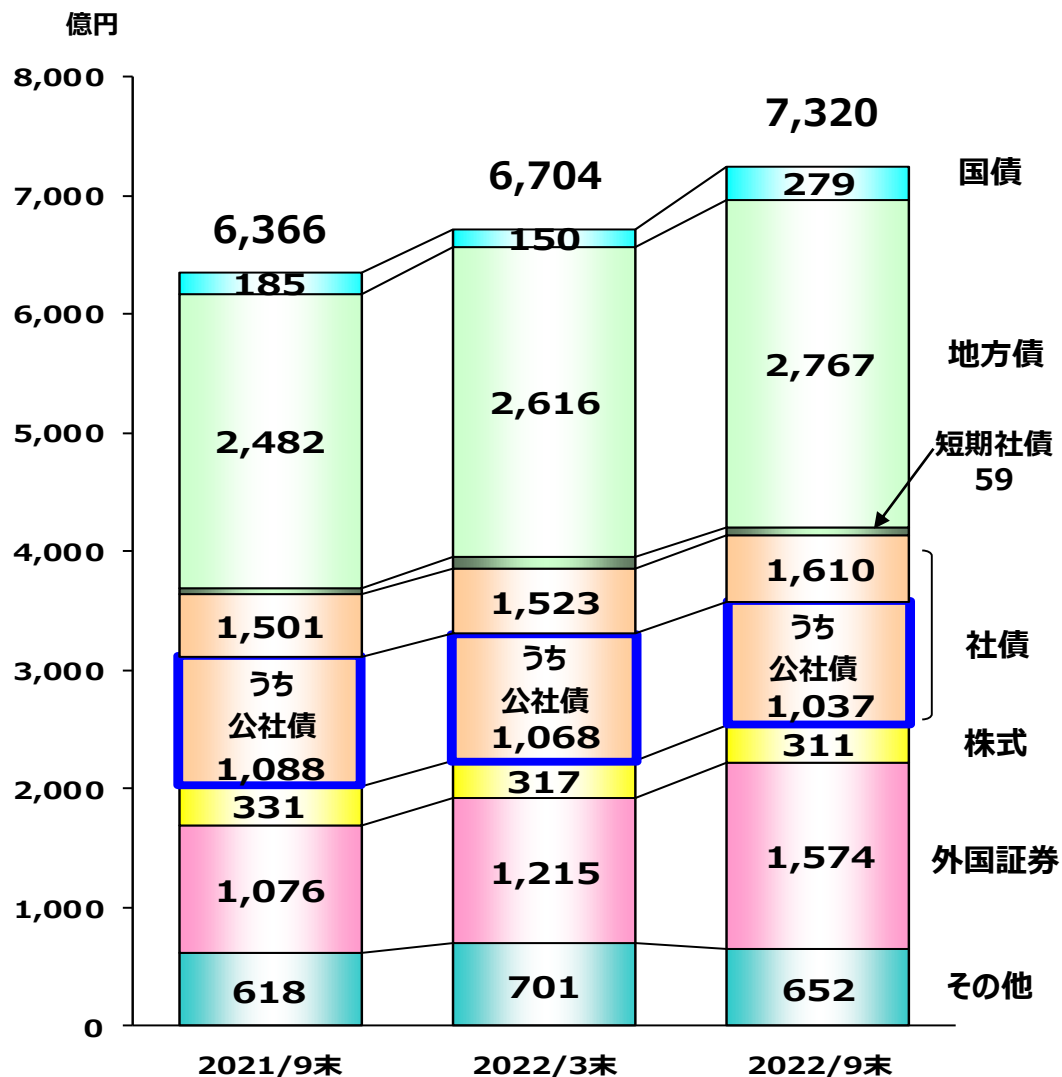
「事業性貸出金中間期利収額・利回り推移」

（単位：百万円）



4. 有価証券の状況

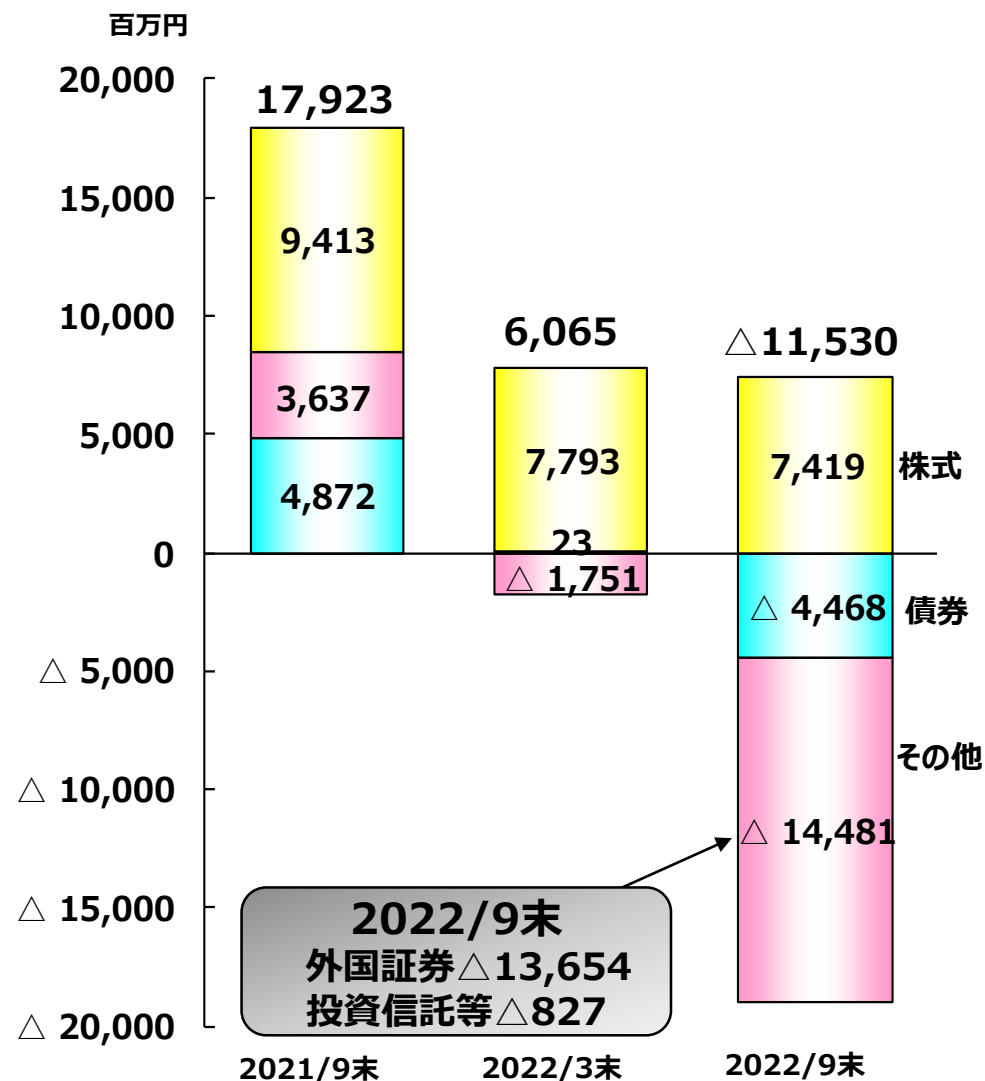
1. 有価証券残高（BS計上額）



※億円未満は切り捨てて表示しております。

※その他は主に投資信託。

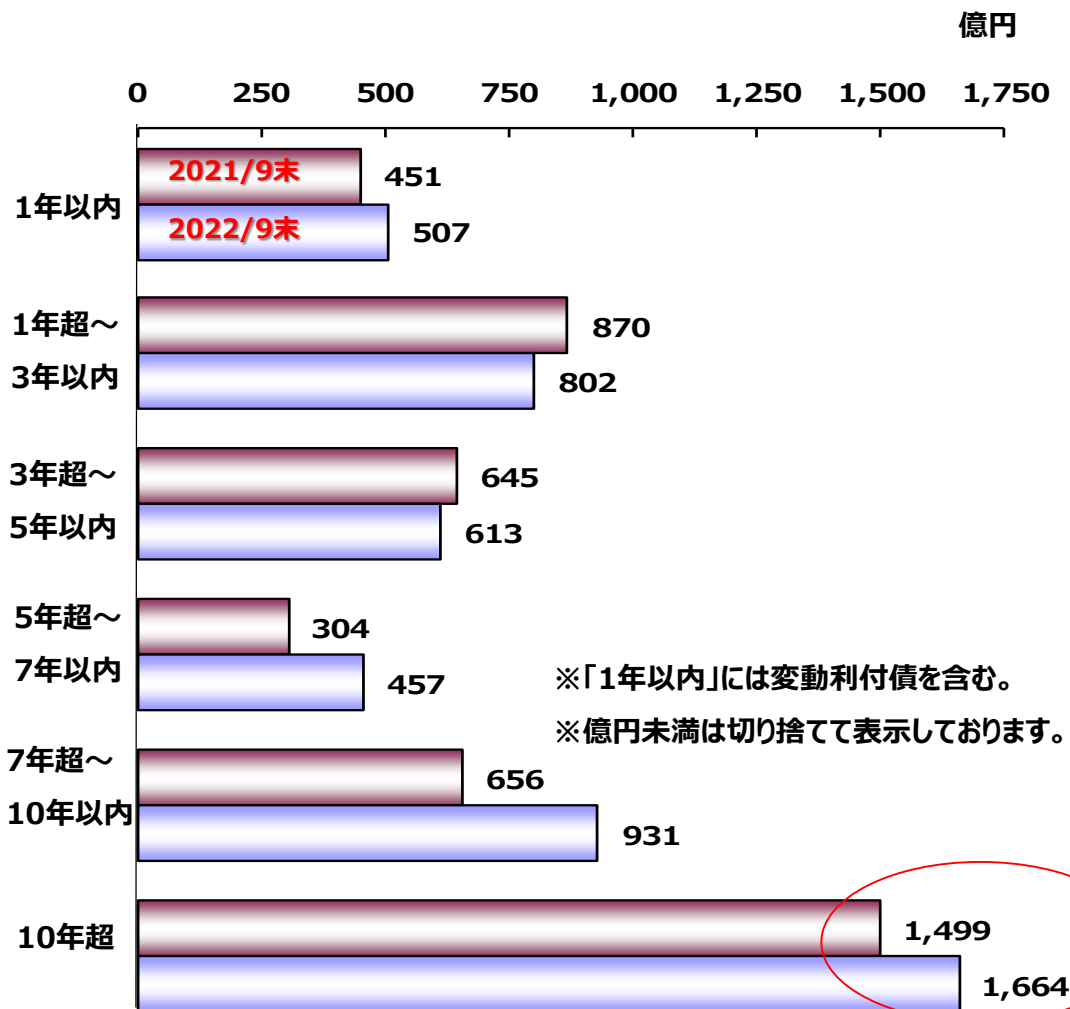
2. 「その他有価証券」の評価損益



※百万円未満は切り捨てて表示しております。

4. 有価証券の状況

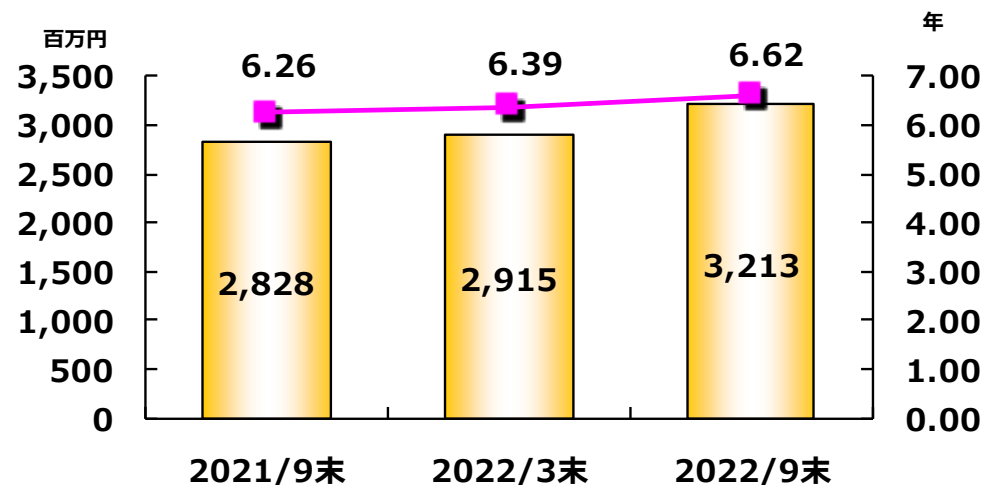
3. 円建債券の残存期間別簿価残高



※「1年以内」には変動利付債を含む。
※億円未満は切り捨てて表示しております。

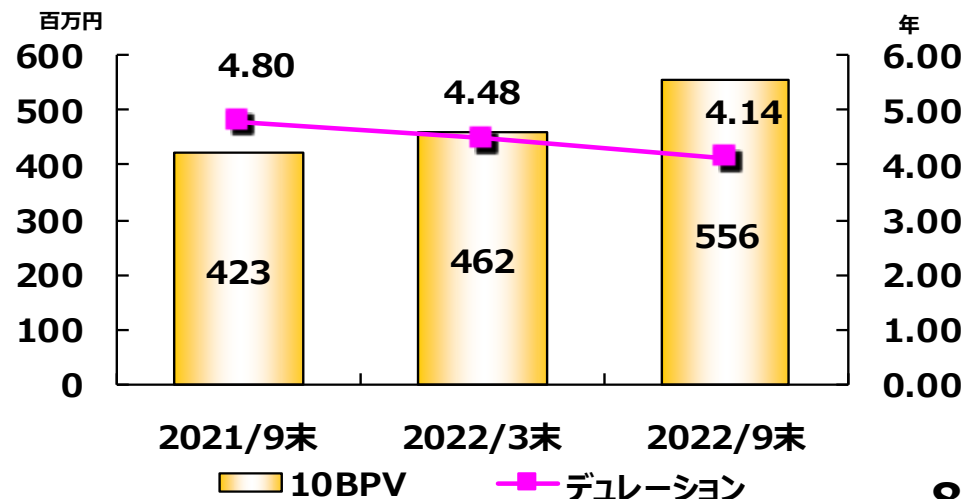
✓ 残存期間10年超は主に定時償還地方債やRMBSであり、デレージョンは抑えられている。

4. 円建債券のデレージョンと10BPV

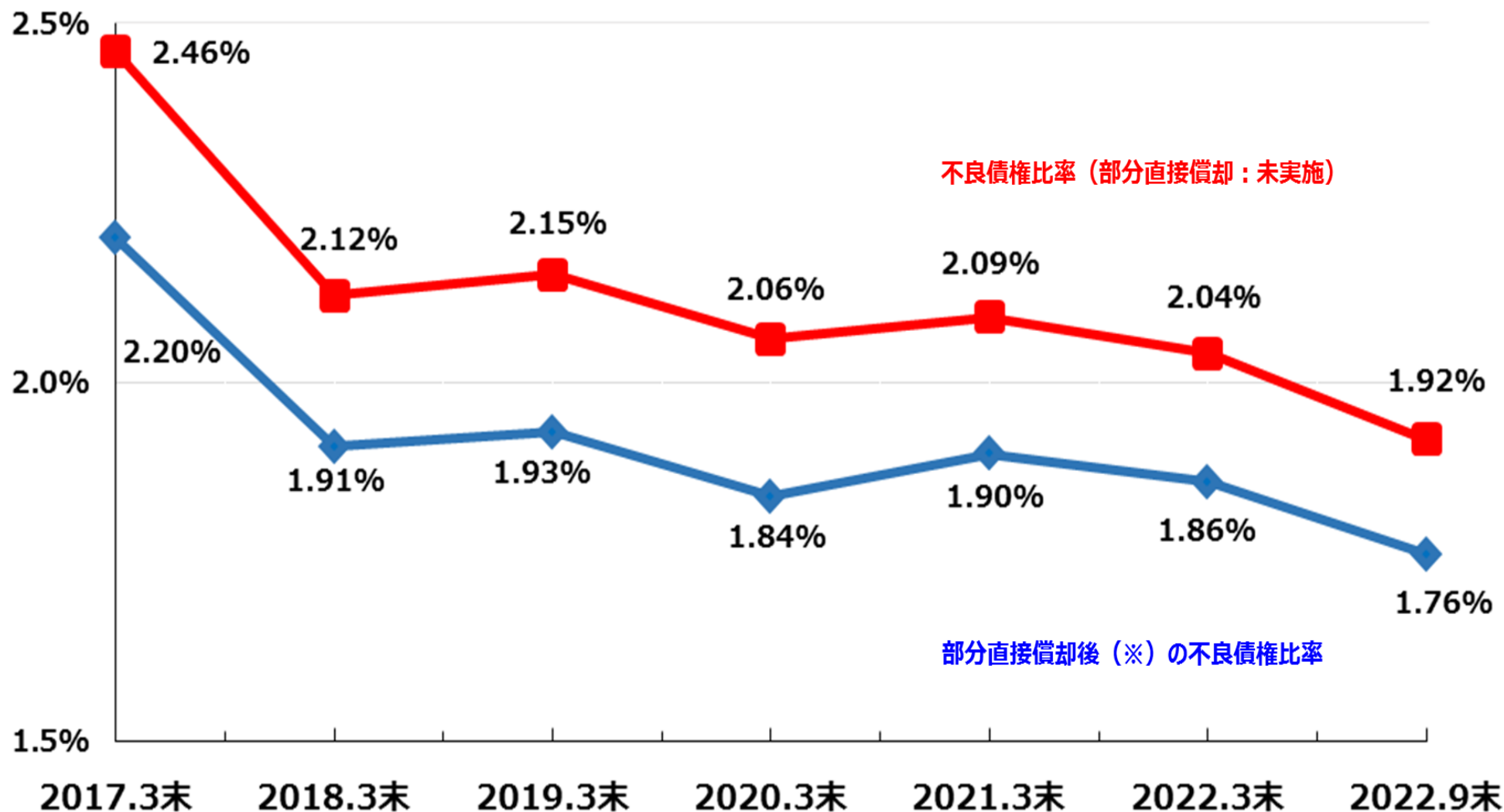


※ デレージョンおよび10BPVはヘッジ考慮後に算出。

5. 外貨建債券のデレージョンと10BPV



5. 不良債権比率の推移



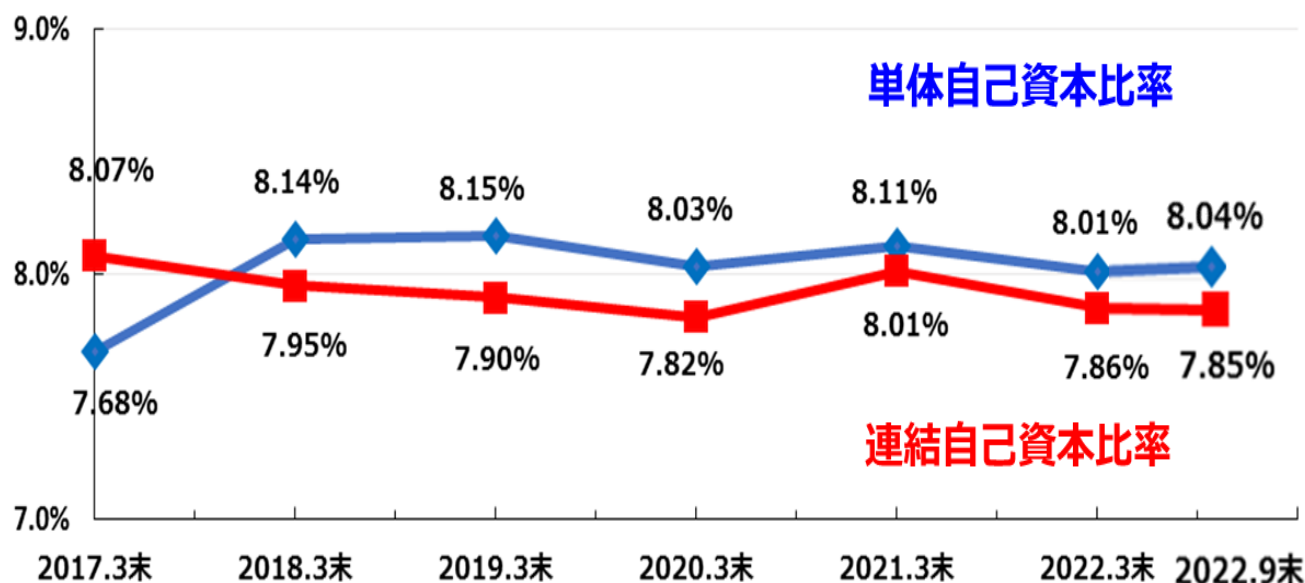
※部分直接償却とは

自己査定により回収不可能又は無価値と判定した担保・保証付債権等について、債権額から担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額を控除した残額（IV分類金額）を取立不能見込額として債権額から直接減額すること。

※当行は「部分直接償却」を実施していないため、IV分類金額と同額の貸倒引当金を計上している。

6. 自己資本比率の推移

【単体】		(単位：百万円)			【連結】		(単位：百万円)		
		2022/3末	2022/9末	(2022/3末比)	2022/3末	2022/9末	(2022/3末比)		
自己資本	A	111,232	114,905	3,673	109,655	112,691	3,036		
リスクアセット	B	1,387,430	1,428,650	41,220	1,393,477	1,434,206	40,729		
自己資本比率 (C=A/B)	C	8.01%	8.04%	0.03%	7.86%	7.85%	△0.01%		



※信用リスクは「標準的手法」、オペレーショナルリスクは「基礎的手法」。

【自己資本】

2022年9月期は2022年3月期と比べ、利益の積み上げ等により、自己資本が増加しました。

【リスクアセット】

2022年9月期は2022年3月期と比べ、法人向け貸出金の増加等により、リスクアセットは増加しました。

＜資本政策の基本方針＞

当行は経営の健全性維持の観点から、内部留保の充実を図り必要な経営体力を維持していくとともに、持続的な株主価値の向上を図る観点から資本効率を意識した資本政策を実施していきます。また、配当につきましては、長期にわたる安定的な経営基盤の確保に努め、安定配当を行うことを基本方針としております。

【お問い合わせ先】

株式会社 佐賀銀行

総合企画部

TEL 0952-25-4617

本資料に記載された将来の予測等は資料作成時点の当行の判断であり、将来の業績等を保証するものではありません。

今後、経営環境の変化などにより、変更される可能性があることにご留意ください。

また、本資料は当行の財務状況および今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、取引の勧誘を目的としたものではありません。